

研究通信

村落社会研究会会報

101

本部

東京都文京区大塚塚町二四
東京教育大学社会学部社会学研究室
通信編輯部
東京都文京区本郷三丁目
東京大学文学部社会学研究室



村落社会研究会の

発足にあたり

有賀 圭五郎

昨秋十一月以来三回の準備打合せ会を重ねて、枚々の村落社会研究会が成立し、今その研究活動の初めのこととするに至ったことは非常なうれしく感じます。すでに設立趣意書でも申し上げましたように、本会の目的は同業の人々の、或は他々別々、或は互々種々な、然れども、研究を志す者による現況を、その組織的に結び合せて、必要の問題にたい関心を喚び、また、研究上の提携を促し、正確にして精密なる研究方法と共に検討して全体

として研究の成果を高め、とりとう案にあるのであり、

この目的によつて、設立し、正ばかりなのに、すでに全口前に感懐研究者の入念が百名近くには達したことは、その希望がはかに強りものであるかを語つて余りがあると思ひます。

この会を組織する道は大きくわけて二つあると思ひます。一つは同業の結合を強めるための基本的な考へ方と方法とを持つことであり、自分六つは枚々の研究成果を現在の危機において、日本人の生き方の上に入きく生かしたいという熱望であります。

オ一のことは設立の趣旨にしたがつて考へられる事であつて研究の成果を高めるためには、向題意識の分科や研究手法の精細な検討が重要なるはずであり、また、その成果を成就するには全員が、一人一人の責任をもち、相互に誠意ある批判が行われなければならないと思ひます。全目的な

ひろがりです。かり、生活や至りや考へ方の異なる人々が相持する事になり、誤解を生ずるかも知れませんが、かえり、寛容な心持を待って、他の批判を受け入れて行けば、何人々々の立場の相違があつても、研究上の共有財産を多くすることが出来ると思ふのであります。本会にせういふ風に行つたりと思ひます。そしてこの結びつきを深めるためには、一年一回の討論会や年報の出版のみでは足りないので、各地における研究会の開催の外に、会員の平素の通信連絡を万難を排して、もやつて行きたりと思ひます。オ一の奥にふかく留意して頂きたりと思つてお

オ二のことは現在の世界の危機にあり、日本人が日本人として生きることにはどうすべきかという奥せんの問題と関連してあります。本会の仕事は科学的研究活動から発展することは出来ないのであります。その成果が直覚であるから、当然実践にスリキ下つたりもつて出まるとあります。向題のえらひ方と追求の仕方とは重要であります。オ二の、枚々の研究企画は種々あることにも、又村落社会を對象とするとしても、現在の危機において日



本人が世界文化の興り作興や世界的な
 治勢の成身に對しては身に對峙しつゝ
 あるべき知る事は皆々の事を大なる仕事
 と見てまいと思ふのであります。現在の
 日本人の行動を分析する事だけで幾々の
 万反するものでは少しもなほの ですが
 世界は將來を規定するのであらう世界の
 存続や世界政府の勃興などが他々の
 民族や口民の個性を無視するものでない
 とすれば、世界的一元化が成立するには
 他々の民族や口民における訓練が手之ら
 肌なければならぬ事を當然であると思ふ
 ものであります。こゝからは弱小日本が世
 界の中に大きく生きるための実践として
 練土に於ける條件をなすべしと存じます。こゝ
 村塔社会研究会の成立に際し、私自身の
 感激をのべてのにすぎないので、
 沃して本会を代表したのであ
 りませんが、研究会の成長を心
 から祈りつゝ、会員の皆様に御
 挨拶申上げます。

(一九五三年二月九日 東京教育大)

